

# 第2回タイ国における 介護と労働事情調査のご案内



\*ワット・ロンクン 於タイ王国チェンラーイ県



公益財団法人 国際労務管理財団

2024年12月1日

# タイ調査団派遣の目的・内容

## 目的

内閣府令和6年版高齢社会白書、高齢化の国際動向(注1)によると、タイは現在人口の14%以上が65歳ということで、高齢社会になっています。(14%以上が高齢社会の基準)そして2030年には20%を超えるとされており、急速に高齢化が進展しています。

またタイでは伝統的に家族が高齢者の介護をすることが多く、今後高齢化の進展に伴い日本同様家族だけで高齢者を介護することが困難となり、介護施設等の介護関連サービスへの需要が高まってくることが予想されます。

そこで当財団では、高齢化先進国である日本の介護技術のタイへの移転や、介護インフラ整備へのお役立ちに向け、その前段階としてタイ国における介護や介護労働事情を調査するため「第2回タイ国における介護と労働事情の調査」と題してタイに調査団を再派遣することとしました。

注1:[https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2024/zenbun/06pdf\\_index.html](https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2024/zenbun/06pdf_index.html)

## 内容

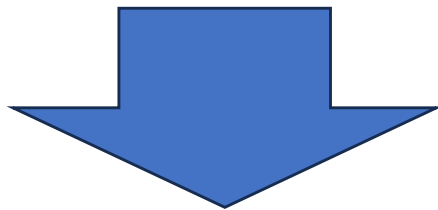
今回の調査ではタイ国の介護技能実習生の送出機関を訪問し、タイから日本への介護技能実習生の送出しの現状の視察に加え、地方とバンコクの送出機関の生徒達の家庭にも訪問し、現地での生活についても見学をする予定です。また今回もタイ政府、労働省への視察、現地の介護施設や日本語教育施設も見学し、多方面からタイの介護・労働事情を調査・視察いたします。

日頃より多くの方からお問い合わせを頂いておりますので興味のある介護施設の関係者の方々は、この機会に是非ご参加をご検討ください。

# 介護と労働事情調査を通じて 期待される効果

## ◇タイ国に於ける想定しうる様々な課題

- ①関係機関の通達や指示等の整合性
- ②介護士候補者に対するの技術研修
- ③介護の基礎となる質を担保する資格制度
- ④高齢者福祉施設や介護サービスの整備状況
- ⑤要介護者に必要な介護資機材



## ◇今般の調査を通じての将来へ繋がる事業化案

- ①タイ国の介護教育分野における日本の介護士教育プログラムの普及及び介護士による要介護者への適切な介護サービスの提供。
- ②介護士の介護技術の向上、雇用の確保、要介護者への適切なサービスの提供と日本の自立支援・介護予防の考え方に基づいた介護技術・知識の普及でタイの介護財政負担を軽減。

# 介護技能実習生受入れによる国際交流・タイにおける将来への展望

## ◇国際交流

介護の技能実習生受入れを通じて、実習先や地域社会と交流することにより共生社会創造に繋がる

## ◇タイにおける将来への展望

将来的に提供するもの

- ①先進的な介護技術のタイ国内への技能移転
- ②技能実習修了者のタイ国内での就労機会の拡充
- ③介護業界における教育者の育成

タイ国内での波及効果、介護環境の整備

- ①医療系大学への高齢者介護に係る人材教育プログラムの設置
- ②介護職の技術向上による介護職認知と介護士の社会的地位確保
- ③要介護者及び介護予備軍への安全な介護サービスの提供と要介護者及び家族の負担軽減等

日程	滞在場所	訪問先等
1月12日 (1日目)	日本 チェンライ	羽田空港10:35出発→15:40到着 スワンナプーム国際空港16:50→18:20 チェンライ国際空港
1月13日 (2日目)	チェンライ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能実習送出機関</li> <li>・介護施設</li> <li>・実習生候補者家庭訪問</li> </ul>
1月14日 (3日目)	バンコク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能実習生送出機関</li> <li>・TPA(タイ日本経済技術振興協会)</li> </ul>
1月15日 (4日目)	バンコク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護施設</li> </ul> 社会開発人権保障省高齢者対応局
1月16日 (5日目)	バンコク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能実習生送出機関</li> <li>・実習生候補者宅にて家庭訪問</li> <li>・職業能力開発局</li> </ul>
1月17日 (6日目)	バンコク	スワンナプーム国際空港14:50発 →羽田22:30着



## 募集要項

1.主催	公益財団法人 国際労務管理財団
2.期間	2025年1月12日(日)～1月17日(金) (5泊6日)
3.行程	前項に記載
4.訪問地	チェンライ・バンコク
5.募集人数	10名程度
6.参加費用	羽田発着、約14万円(お一人様、航空チケット、ホテル代) *概算費用となります。その他移動費や食事代他の実費は参加者負担。詳細は別途ご相談申し上げます。
7.その他	今回のタイ国における介護と労働事情調査には次のIPM専門職員が同行します。 ○本山敏美(事務局次長、部長代理) ○小澤翼(東京事務所職員、介護福祉士・社会保険労務士) ○井上グエンティダー(東京事務所職員、バンコク在住歴20年)
8.申込先	<p>※参加ご希望の方または、興味をお持ちの方は下記連絡先までお問い合わせをお願い致します。</p> <p>※今回の調査期間の日程調整が難しい方には、別途第3期調査団派遣の計画が具体化しましたら、おってご連絡差し上げます。</p> <p>公益財団法人 国際労務管理財団 東京事務所  <a href="tel:03-3354-4841">TEL:03-3354-4841</a>  <a href="mailto:tozawa@ipm.or.jp">E-Mail: tozawa@ipm.or.jp</a></p> <p>担当:本山・小澤・井上</p>



## タイ概況

- 1面積 51万4,000平方キロメートル(日本の約1.4倍)
- 2人口 6,609万人(2022年)(タイ内務省)
- 3首都 バンコク
- 4民族 大多数がタイ族。その他 華人、マレー族等
- 5言語 タイ語
- 6宗教 仏教 94%、イスラム教 5%
- 7略史 タイ王国の基礎は13世紀のスコータイ王朝より築かれ、その後アユタヤ王朝(14~18世紀)、トンブリー王朝(1767~1782)を経て、現在のチャックリー王朝(1782~)に至る。1932年立憲革命。

